

てんひこ

電話 (06) 744-1701 (代)
岩崎哲夫 木本義信 樋口友夫

A black and white portrait of a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a plain, light color.

日 經 産 業 新 聞

56年 秋の叙勲

喜びの声



甲賀忍水口町
元興由小倉返馬
体中央会長。由
小企業振興に努

[illegible]

叙勲の喜び

社長樋口彦三郎

この度の叙勲に際し、多年
中小企業等につくしたとの功
績により「勲四等瑞宝章」の
受章の報を知り、身に余る光
榮と只々感激いたしておりま
す。

この榮譽は滋賀県中小企業団
体中央会々々長石居良造氏のご
推薦を載き、関係各位のご指
導、ご高配とお取引先のご支
援並びに、専務以下全社員の一
日頃社業に対する努力の賜と
感謝いたしております。

去る昭和四十七年の黄綬褒章
の受章に次ぎ、今回の叙勲は
私自身の名譽は勿論のこと、
家内並びに会社の譽れであり
本当に喜びに耐えません。

この間、事業においても、公
務においても色々紆余曲折が
ありましたが、よく理解し留
守を護り勵ましてくれた家内

今後とも健康に充分留意し、社業発展のため精進いたす覚悟です。尚一層のご支援をお願い申し上げます。喜びの言葉といたします。

叙勲の報を

受けて



社長夫人 樋口 てる



この度主人に「勲四等瑞宝章」を賜るとの報に接し、夢かとはかり感激いたしました。十一月十二日授与式十三日宮中にて天皇陛下に拝謁と言われ、「奥様も同伴して下さいますか」と問われましたので「喜んで同伴させていただきます」と即座に返事しておきました。勲四等を頂くほどの功績ありませんのに、少からず面ばゆい感じがいたしますが、本人の名誉は申すに及ばず、家内の誉れに勝るものはありません。これも偏に皆様

のご協力の賜だと思つて居ります。特に会社の方々が一生懸命に天彦産業を盛り上げようと言う温いお心で努力して下さいさるお蔭だと喜んで居る次第です。

「てんひこ」はいつも読ましていたで居りますが、従業員の皆様が一致団結して社のために働き下さるお蔭で主人も安心して公のため尽す

ことが出来たからこそ、今日の榮譽に浴することが出来たのだと心からお礼申し上げます。一昨年は大病を患い入院しまして、皆様方にも色々ご心配おかけしましたが、お蔭

様でその後元氣を取り戻し、今日では老婦に鞭打つて再び元通り活躍させて頂く様になりましたので、大変ありがた

勲四等賜るとの報ありし朝

カンナの花が赤く燃へたり

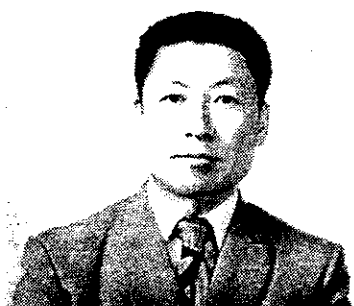
五十年共に歩み来し夫と

並びて御苑の玉砂利をふむ

社長の受章と

我々の使命

専務 樋口 克彦



当社創業百七年、設立三十

七年を迎え、この度の社長「勲四等瑞宝章」受章は我社の歴史に輝かしい一頁を記したものと、卒直に喜ぶと共に、その偉業を称えたいと思います。

たゞ、これは受章者本人の力だけでなく、多くの関係者各位の御支援、御協力に預かる所、大であったと推察

されます。我々はこゝに紙上を借りまして、関係者皆様方に、御礼と感謝の意を表したいと思ひます。

我々社員は、この社長の名譽をただ喜びとするだけでなく、我社の経営理念である社会的存在価値の向上の為、社会に対して一体何が出来るかを追求し、その期待に応えよとの警鐘とも受け止めなければならぬ。

昭和五十六年度は、コンピューター上級機の導入、会議室等の増築、隣接地の購入、それと今回の社長の受章と、我社にとっては、大きな出来事が連続しております。

我々は、現在展開している「GO・GO・五運動」の趣旨を充分に認識し、人間の幸福を求める手段としての経済活動に、取引先との連帯意識を高め、社会と共に我社の生成、発展を果さなければなりません。



叙勲を祝って

株式会社 野水鋼鋳店

社長 野水 慎一



菊薫る文化の日に、樋口社長には榮譽ある「勲四等瑞宝章」を受章されました事は、衷心よりお祝いを申し上げます。

樋口社長には多年にわたり、ひたすら中小企業育成問題に取組んでこられた、その熱意とご努力に依り幾多の功績を残され、広く世に認められた成果だと信じます。その一方ならぬご苦労は大変な事だったと私共は痛感しておる次第で御座居ます。

当社が過去経営危機に陥っ

た時に、樋口社長そして樋口専務には格別なご配慮とご指導を頂きまして、お蔭様で明るい見通しが立ちましたことは、一生忘れる事の出来ないものです。それだけに、私をはじめ社員一同は樋口社長の叙勲受章には、ひそやかな誇りと、うれしさを噛みしめております。

我々はこれからも、樋口社長そして樋口専務はじめ、御社員の方々に負けずに勉強し一層の奮起を以って、当社の存在価値を高め、社業発展に躍進し少しでも御恩返しが出来よう努力する所存です。樋口社長には今後共、健康に留意され、斯道のため貢献下される事をお願い申し上げ、祈念するものであります。



永年勤続の中で得た

最高の喜び

(勤続三十五年)

工場長 樋口 吉久

社長、受章おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

私が入社したのは昭和二十一年で、当時、近江鋸製作所と呼び、前挽鋸業者を集めた会社で鋸職人として従事しておりました。当時、社長は統制組合の理事長をされておりました様に記憶しています。入社から何年か経ったある年、(仕事を情性で行っていたのでしょ)警察予備隊に志願し、某日大阪城警察学校から入隊通知を受けました。それを知った社長は、その日以来毎日家にこられ、「吉久ワシに力を貸してくれ」と説得を続けられ、半信半疑でしたが留まることにしたのでした。

その後、三木に一ヶ月修業に出され、鋸の焼入焼戻し法を

学びました。苦しい修業の中で初めて社長の私に対する温い思い遣りに気づき、「私の一生をこの社長と会社に賭けるんだ。」と決意を新にしたのでした。

我家を建てる時や、家庭の問題が起った時などは常に社長宅を訪ずれ、色々と相談にのっていただき、良きアドバイスをいただきました。

私だけでなく、社長は色々な人達から相談をうけられ、その都度、適切なアドバイスをされ、全ての人から尊敬されておられました。

その意味ではこの度の叙勲は当然すぎる程当然のことと私には思えるのですが、やはり極めてご名誉なことであり心からお祝いを申し上げます。

社長、ほんとうにおめでとうございます。



受章発表の新聞を手に喜びの社長

お祝いの言葉

女子社員一同

社長、この度の叙勲おめでとうございます。

この輝かしい歴史の中で幾多の苦勞や貢献された功績は並たいていの努力では出来なかつた事と思います。

どうぞ、これからもご自愛くださいまして、ますますお元気で私達後進のためにご指導いただくことをお願いいたします。お祝いの言葉とさせていただきます。

「社長、ドテラ姿は

似合いまへんでエ」

課長代理(勤続十一年)

萩 原 利 武

このたび、私たちの社長、樋口彦三郎氏が「中小企業育成の功」を讃えられ「勲四等瑞宝章」の榮譽に叙せられました。

先年、直腸てき除の大手術をされ、一時危ぶまれたお躰の方も最近めっきり元気になられたところでの叙勲だけにその喜びはひとり社長だけの名譽でなく、私たち全社員のひとつと誇りとするところであり、心からお祝い申し上げる次第です。

社長は大病により滋賀県中小企業団体中央会々長の任を辞された後も、まだまだ県内各界からの要請があり、社業の多くを専務に委任されたままで私たち社員と接せられる機会も数少ないのですが、高所大局は充分把握され、適確なご指示をされており、受け

て私たちも一昨年より激動するサバイバル時代に対応すべく「GO・GO・五運動」を展開、飛躍へ向けて一丸としての前進を始めた折だけに、

この喜びは同時に、榮譽を汚すことのない様私たち社員のこれからの責任を痛感し、身の引き締まる思え致します。私事(わたくしごと)で恐縮ですが、小生が天彦産業にお世話になって十一年目になります。それまで団体職員のような職業を転々として観念的、教条主義的な性向の強かった小生に「長続きすればよいが……」陰で大変ご心配をいただき、私事に亘っても何かとご指導をいただいたおかげで、いつしか生涯の職場と心に定めて、営業活動にその生き甲斐を見出すことが出来るようになりました。

分けへだてのない優しさ心の量大さが、社内だけでなく、公的生活の中でも数多くの協力者に恵まれて今日の榮譽につながったものと信じるのであります。

大阪営業所が現在の地に新築移転したばかりの年の暮れ

無人の事務所の万に備えて当時二台しかなかった社用車を課長と小生の二人で自宅に持ち帰ったことがありました。「正月休みの私用のために」と多分誤解された社長から夜半自宅に電話があり、きびしくとめられて、生来短気者の小生としてもいたくアタマに來たものでしたが、それから暫くして「君が万一に備えて持ち帰ったことを知らずに叱って、すまないことをした。気を悪くせず、これからも頑張ってくれよ」と再び電話をいただいたのにはビックリしました。誤りは誤りとしててらいなく正される社長の姿勢に「生きざまとは何か」を教

えられたような気がして一ぺんに社長が好きになり、それが今日までお世話になる要因にもなったのです。当時、業務部長が長期療養中で、經理の補助を兼て週に

一、二度本社へ出向しておりました

が、ある時「私用ですまんが」と終日運転手として水口の街を走り廻ったことがありました。何でも町議選で地元候補者が二分して社長が推す候補の不足した票を補うための活動だったのですが、後日落選した対立候補が「樋口さんにタテついて始めて偉大さが判りました」と詫び入

れかたがた援助の申入れがあった時、イヤな顔ひとつせずあちこちへ口利きをされる社長の公平無私な人の良さに周りの小生がアキレたものでした。

一、二度本社へ出向しておりました

が、ある時「私用ですまんが」と終日運転手として水口の街を走り廻ったことがありました。何でも町議選で地元候補者が二分して社長が推す候補の不足した票を補うための活動だったのですが、後日落選した対立候補が「樋口さんにタテついて始めて偉大さが判りました」と詫び入

れかたがた援助の申入れがあった時、イヤな顔ひとつせずあちこちへ口利きをされる社長の公平無私な人の良さに周りの小生がアキレたものでした。

編集後記

今回は叙勲特集の号外として発刊しましたが「てんひこ」第五号も近日中に発刊を予定しております。

今回原稿をいただいた皆さまにお礼を申し上げるとともに第五号にもどしどし原稿を寄せていただく様お願い致します。

迄うご期待ノ

